

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公表番号】特表2014-500734(P2014-500734A)

【公表日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-002

【出願番号】特願2013-533945(P2013-533945)

【国際特許分類】

A 47 J 27/00 (2006.01)

F 24 C 7/02 (2006.01)

【F I】

A 47 J 27/00 107

F 24 C 7/02 551A

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月18日(2014.7.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

RFエネルギーを印加することによって対象物を処理するための容器において、外側ハウジングと、

前記外側ハウジング内に少なくとも部分的に配置された内側ハウジングにおいて、前記内側ハウジングの少なくとも一部分はRF透過性である、内側ハウジングと、

前記内側ハウジング内のエネルギー印加ゾーンにRFエネルギーを印加するよう構成された放射素子と導波管とを有する少なくとも1つのフィード部と、

を備えることを特徴とする容器。

【請求項2】

請求項1に記載の容器において、滞留液体を保持できることを特徴とする容器。

【請求項3】

請求項1または2に記載の容器において、前記容器からのRFエネルギーの漏洩を低減もしくは防止するよう構成されたカバーをさらに備えることを特徴とする容器。

【請求項4】

請求項1または3に記載の容器において、前記容器からのRFエネルギーの漏洩を低減もしくは防止するよう構成されたチョークまたはガスケットをさらに備えることを特徴とする容器。

【請求項5】

請求項1乃至4の何れか1項に記載の容器において、前記少なくとも1つの放射素子は、前記内側ハウジングと前記外側ハウジングとの間に位置することを特徴とする容器。

【請求項6】

請求項1乃至5の何れか1項に記載の容器において、3つ以上の放射素子を含むことを特徴とする容器。

【請求項7】

請求項1乃至6の何れか1項に記載の容器において、前記少なくとも1つの放射素子にRFエネルギーを供給するよう構成された電源をさらに含むことを特徴とする容器。

【請求項8】

請求項7に記載の容器において、前記電源は、マグнетロンまたはソリッドステートアンプを含むことを特徴とする容器。

【請求項9】

請求項1乃至8の何れか1項に記載の容器において、前記少なくとも1つの放射素子は、複数の周波数でRFエネルギーを印加するよう構成された電源に接続されていることを特徴とする容器。

【請求項10】

請求項1乃至9の何れか1項に記載の容器において、前記エネルギー印加ゾーンへのRFエネルギーの印加を制御するよう構成されたプロセッサをさらに含むことを特徴とする容器。

【請求項11】

請求項1乃至10の何れか1項に記載の容器において、前記少なくとも1つの放射素子は、主に前記内側ハウジングに電磁エネルギーを伝達するように構築された漏洩波アンテナを含むことを特徴とする容器。

【請求項12】

請求項1乃至11の何れか1項に記載の容器において、前記内側ハウジング内に位置し、前記内側ハウジング内にある際に前記対象物を攪拌するよう構成された攪拌器をさらに備えることを特徴とする容器。